

本年6月、e-Learning センター専任教員に就任した、松村宣頭助教からのあいさつを掲載いたしました。

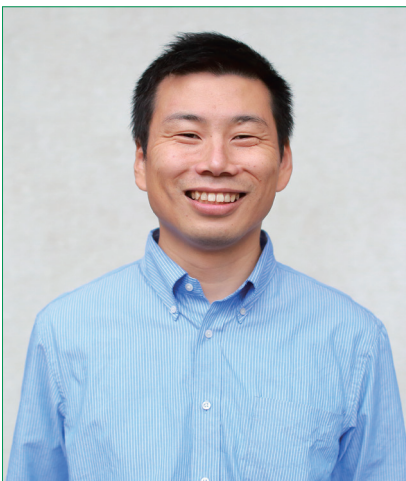
また、eALPS 利用の際の豆知識として、学生は自身の活動状況を、教員はコースに参加する学生全体の活動状況を、一目で確認できる方法を紹介しています。

## contents

e-Learning center Newsletter No.33

- e-Learning センター専任教員就任のあいさつ
- information 「授業および授業素材としての映像録画支援」受付中です。
- eALPS 研修会開催報告
- Tips for eALPS コース内の進捗状況を表示できます！

## e-Learning センター専任教員 就任のあいさつ 大学教育と情報技術の接点を担う eALPS



e-Learning センター専任教員  
研究開発運用部門  
松村宣頭 (まつむら のりあき) 助教

いまから150年以上前の1867年2月1日、J.S. ミル (John Stuart Mill) はスコットランドのセント・アンドルーズ大学において名誉学長就任の講演を行いました。ここで、ミルは大学における一般教養教育の重要性や教養ある知識人とはなにかなどについて述べています。講演の内容はいまも『大学教育について』

(J.S. ミル著、竹内一誠訳、岩波文庫、2011年)で読むことができます。この本を読むと、当時から大学における教育とはどのようにあるべきかについて論争があったことが伺えます。ミルの講演当時とは状況が異なっておりますが、現代に至るまで大学教育のあるべきかたちについて議論が為されております。すなわち、大学での教育はどのようにあるべきかは古くて新しい問題であり、社会状況に応じて継続的に議論される事柄であるといえます。

現代の社会において、情報技術は社会に広まり複雑化しています。そして、私たちの社会生活、経済活動、教育研究活動などなくてはならないものになっています。日進月歩で技術革新が進み、生み出されるコン

テンツやユーザの利用方法も日々変化し続けております。大学教育に関してみると、既に多くの大学がLMS (Learning Management System) など教育基盤システムを導入し、授業や公開講座で利用しています。次世代電子学習環境 (NGDLE, Next Generation Digital Learning Environment) の議論や取り組みも行われています。また、大学の授業をインターネット上で公開するOCW (Open Course Ware) や大規模公開オンライン講座のMOOC (Massive Open Online Course) などオンライン教育の取り組みもされています。情報技術の発展とその教育における利用の深化に伴って、情報技術を利用した大学教育のあり方についても議論が進んでいます。

e-Learning は情報技術を用いて行う学びです。大学での e-Learning を支援する教育基盤システムは大学教育と情報技術の接点であり領域といえます。信州大学では「eALPS」がこの部分を担っています。現在、eALPS は Moodle という OSS (Open Source Software) の LMS をベースに整備を行っています。eALPS はパブリッククラウド環境に構築し運用しております。2019年6月に信州大学 e-Learning センター研究開発運用部門に着任し、この eALPS の管理運用と研究開発を担当することとなりました。これからの eALPS がどのようにあるべきかについて皆さまと議論していきたいと考えております。また、研究開発と管理運用を通して、eALPS を可用性の高いシステムとし、より良いサービスを提供できるよう取り組みます。加えて、教育の質の向上のために必要な情報収集や分析にも取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

研究開発運用部門  
松村 宣頭



## 「授業および授業素材としての映像録画支援」受付中です。

コンテンツ作成のための外注業者・学生等補助者への費用支援、業者の手配等、随時受け付けています。

\*ただし、予算に達するまで。

支援対象：eALPS 等で公開し教育に活用する映像コンテンツ作成、より多くの学生および教職員の利用が見込める内容

支援上限：50,000円 (1件の支援に対して)、年度内1回

受付締切：2020年2月上旬 (録画は2月14日 (金) まで)

問合せ先：e-Learning センター ICT 活用支援部門

E-mail: elcenter-rokuga@shinshu-u.ac.jp

\*作成コンテンツの一部を「eALPS 教職員サイト」「映像録画支援」で紹介しています。

(はじめてアクセスする場合は、【コースを検索する】で「映像録画支援」を検索し、コースに登録すると利用可能になります。)

# eALPS 研修会を開催しました：各キャンパスにもお伺いします。

## ◆ eALPS 研修会（学生対応職員編）

2019.08.30 開催

教員・学生の対応をされている学務系職員の皆様を対象にした eALPS 研修会を開催いたしました。松本キャンパスを主会場に各地キャンパスへ SUNS 配信し、42名の皆様にご参加いただきました。

eALPS のコースに各種データが反映されるまでの流れや、e-Learning センターへ依頼される際のお願い事などをお伝えし、各学部の eALPS を活用した取り組み事例を紹介しました。参加の皆様から、対応に苦慮されている点や、定期的に職員向けの研修会の開催を希望する声が多く寄せられました。

研修会の様子は、自動録画システムで撮影を行い、eALPS の教職員サイトにて公開しています。



\* 動画および配布資料はこちらで確認いただけます。  
eALPS 教職員サイト → 検索「eALPS 研修会 学生対応編」 → 【私を登録する】

## ◆ eALPS 小テスト機能研修会

共催：高等教育研究センター 2019.09.25 開催

eALPS の小テスト機能を後期授業で活用していただきたく、小テスト機能の研修会を高等教育研究センターの共催で、松本キャンパスにて開催いたしました。

小テスト機能の活用についての事例紹介に続いて、小テスト作成手順を提案し、参加の皆様それぞれのコースに問題を作成していただきました。事前に申し込みされた方へは、個別相談やフォローをして進行いたしました。

研修会後のアンケートは eALPS のフィードバック機能を使って実施し、参加された13名の皆様全員が回答され、「eALPS の小テスト以外の機能の研修会の開催の希望」、「作業の効率化ができそうだという気持ちはあるが慣れるまで時間がかかりそう」などのご意見をいただきました。



学部・学科・コースなどでの単位で、eALPS に関する各種研修会の開催をいたします。開催をご希望の際は、研修会の内容・日時などご要望を e-Learning センターまでお寄せください。

## \*\*\* Tips for eALPS \*\*\*

このコーナーでは、知っているると便利な eALPS の機能やちょっとしたコツをご紹介します。

### コース内の進捗状況を表示できます！

モジュールの活動完了を利用して、学生のコーストップページに活動状況が一目で確認できるチェックボックスを表示することができます。また、教員はコースに参加する学生全体の活動状況を一覧で表示できます。

**学生** トップページに表示

- 第1回レポート
- 自己紹介してください
- 今回の授業の感想と、次回の要望
- 1回目資料

**トピック 2**

- 第2回レポート
- 2回目の授業について

**教師**

[レポート]の[活動完了]に表示

完了した項目にチェックが付く

名/姓	第1回レポート	自己紹介してください	今回の授業の感想と、次回の要望	1回目資料	第2回レポート	2回目の授業について
00P0000P 信州 小太郎	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
00P0010P 信州 太郎	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
00X0000X 信州 一太郎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

スプレッドシートフォーマットでダウンロードする(UTF-8 csv)  
Excel互換フォーマットでダウンロードする(csv)

### 設定方法

チェックを表示したい項目の「設定（歯車マーク）」を開き、「活動完了」の条件を設定します。

▼ 活動完了

完了トラッキング  条件を満たした場合、活動完了を表示する ▼

閲覧を必要とする  完了するには学生はこの活動を閲覧する必要があります。

評定を必要とする  この活動を完了するには学生が評定される必要があります。

完了するには学生はこの活動を送信する必要があります。

期待される完了日  /  /  /  /   Yes

① 完了トラッキング  
「条件を満たした場合、活動完了を表示する」に変更

② 活動の完了条件を選択  
完了のチェックを表示する条件を選択  
(モジュールによって用意されている条件項目が異なります)

【課題：設定画面】